

日本で一人で暮らすということ

建国大学校

リ ウンギョ

学籍番号 k2690005

私は今まで家族と共に住んできて、一人で暮らしてみた経験がありませんでした。だから日本に来る前に、本当にうまく暮らしていけるのかな、という心配でいっぱいでした。日本語で話す事は韓国ですごく練習してきたし、聞き取りの場合は耳に病気があるけどちゃんと聞こえさえすれば問題なかったのもので、他の交換留学生の方々とはちょっと違う所を心配していたかもしれないですね。

実際日本に来て、音羽館での生活が始まったときは、心配のし過ぎだったのか思ったよりはうまく、特に問題なく生活することができました。ネモフィラが咲く頃に花見にいったり、茗荷谷駅前の定食屋さんで色んなメニューに挑戦してみたり、元の専攻の勉強のため展示を見に行ったり。韓国ではできないような経験もたくさんできてすごく楽しかったです。





でも生活していくと徐々に心配していた問題が起きてしまって、風邪をひいたり、体調を崩したり、心が荒れたりすることが起きてしまいました。でも一緒にお茶大にきてくれた大切な友達のカウンさんと、親切にすべきことを教えてくださった市原先生、困ったことはないか気を使ってくれたチューターの琴乃さん、そして頼もしく話を聞いてくださった担当の李先生、ほかにも色んな方々のおかげでこうやって学期が終わるまでなんとか耐えて、発表することができました。本当にありがとうございます。

それにお茶大の周りはずごく治安がよく、美味しい店も沢山あって、とても住みやすい街でした。多分私はこのお茶の水女子大学でなかったら、ちゃんと充実した交換留学生生活を過ごせなかったはずだと思います。だからこの大学に来られて、そしてこうやって皆さんの隣で勉強することができて、とても幸せです。